



日本 JC ジャがいもクラブ標準競技規則

日本 JC ジャがいもクラブの公式競技における標準競技規則は次のとおりとする。開催を主管する LOM は、同標準競技規則（変更箇所のある場合は役員会の承認を得た上で変更したもの）と併せて「プレーヤーの心得」を開催までに全参加者に通知すること。

標記競技は R&A と USGA が承認したゴルフ規則（2019 年 1 月施行）と下記のローカルルールと競技の条件を適用する。ローカルルールと競技の条件の修正や追加については各競技の競技規定やプレーヤーへの注意事項、および各会場の公式掲示板で確認すること。下記に参照するローカルルールの全文については 2019 年 1 月発効の「ゴルフ規則のオフィシャルガイド」を参照すること（www.jga.or.jp で閲覧可）。

別途規定されている場合を除き、ローカルルールの違反の罰は一般の罰（ストロークプレーでは 2 罰打）。

ローカルルール

1. アウトオブバウンズ（規則 18.2）

アウトオブバウンズは白杭のコース側を地表レベルで結んだ線によって定められる。

2. ペナルティーエリア（規則 17）

- (a) 片側だけ定められているペナルティーエリアは無限に及ぶ。
- (b) ペナルティーエリアが境界に隣接している場合、そのペナルティーエリアの縁はその境界まで及び、その境界と一致する。

3. 異常なコース状態（動かさない障害物を含む）（規則 16）

(a) 修理地

- (1) 青杭を立てた白線で囲まれた区域

(b) 動かさない障害物

- (1) 白線の区域と動かさない障害物がつながられている場合、ひとつの異常なコース状態として扱われる。
- (2) U字排水溝はジェネラルエリアの一部として扱われ、ペナルティーエリアではない
(例外：ペナルティーエリアとしてマーキングされている区域の中にある U字排水溝)。
- (3) 人工の表面を持つ道路に隣接している U字排水溝はその道路の一部として扱う。
- (4) ジェネラルエリアにある排水溝はジェネラルエリアにある動かさない障害物とする。

(c) 地面に食い込んだ球

規則 16.3 は次のように修正される：バンカーの壁やヘリ（積芝の土の側面）に食い込んだ球について罰なしの救済は認められない。

4. 不可分な物

次のものは不可分な物であり、罰なしの救済は認められない：ペナルティーエリア内にある人工的な護岸やパイリング（枕木等の構築物）。

5. クラブと球

(a) 適合ドライバーヘッドリスト：ローカルルールひな型 G-1 を適用する。

このローカルルールに違反するクラブでストロークを行ったことに対する罰：失格

(b) 溝とパンチマークの仕様：ローカルルールひな型 G-2 を適用する。

このローカルルールに違反するクラブでストロークを行ったことに対する罰：失格

(c) 適合球リスト：ローカルルールひな型 G-3 を適用する。

このローカルルールの違反の罰：失格

注：適合クラブと球の更新されたリストは www.jga.or.jp あるいは www.randa.org で閲覧できる。

6. プレーのペース（規則 5.6）

プレーヤーは競技ごとに掲示される「プレーのペースの方針」をプレー前に確認しておくこと。このプレーの方針は厳格に実施される。

プレーのペースの方針の違反の罰

バッドタイム 1 回目 競技委員からの口頭での警告（さらなるバッドタイムがあると罰を受けることを告げる）。

バッドタイム 2 回目 1 打の罰

バッドタイム 3 回目 さらに 2 罰打

バッドタイム 4 回目 失格

7. プレーの中断（規則 5.7）

次の信号がプレーの中断と再開に使われる：

差し迫った危険のための即時中断—1 回の長いサイレン

危険な状況ではない中断—連続する短いサイレン

プレーの再開—2 回の連続する短いサイレン

注：危険な状況のためにプレーを即時中断する場合、すべての練習区域は委員会がプレーを再開するまで閉鎖される。閉鎖された練習場で練習するプレーヤーには練習を止めるように勧告し、それでも練習を止めない場合には失格となることがある。

注：開催コースの警告方法によって変更する場合がある。

8. 練習 (規則 5.2)

(a) ストロークプレーのラウンド前、またはラウンドとラウンドの間

ローカルルールひな型 I-1.2 を適用し、規則 5.2b は次の通り修正される：

「ラウンド前やラウンドとラウンドの間に、プレーヤーは競技コースで練習してはならない。」

規則 5.2 の違反の罰：規則 5.2 の罰則規定を参照。

例外：プレーヤーは競技日に練習用に用意されているコース内のすべての練習区域を練習のために使うことができる。

(b) 終了したばかりのパッティンググリーン上やその近くで練習することを禁止する

ローカルルールひな型 I-2 を適用し、規則 5.5b は次の通り修正される：

2 つのホールのプレーの間、プレーヤーは次のことをしてはならない：

終了したばかりのパッティンググリーンやその近くで練習ストロークを行う。または、終了したばかりのパッティンググリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってパッティンググリーン面をテストする。」

競技の条件

9. 参加資格

プレーヤーは各競技の「競技の条件」で定められる参加資格の条件を満たしていなければならない。

10. スコアカードの提出

プレーヤーのスコアカードは、プレーヤーの両足が所定のスコアリングエリアから出た時点で委員会に提出されたことになる。

スコアカードを提出する前にスコアリングエリアを離れる必要のあるプレーヤーはスコアリングオフィシャルにその意思を告げなければならず、そしてすぐに戻らなければならない。

11. タイの決定

マッチング・スコアカード方式を採用

(1) 全日本選手権、シニア選手権、ミッドシニア選手権は、スタートするホールに関係なく、最後の 9 ホールの合計スコアを比較し、成績の良いプレーヤーから順位を決定する。

それでも決まらない場合は、

① 22 番目のホールから 27 番目のホールの合計スコア、

② 25 番目のホールから 27 番目のホールの合計スコア

を比較しそれでも決まらない場合は

③ 最終 27 番目のホールからのカウントバックとし順位を決定する。

12. 協議の結果—競技の終了

競技の結果は競技委員長の成績発表がなされた時点で最終となる。

注意事項

13. 行動規範

プレーヤーにエチケット違反、または非行があった場合には「JGAの行動規範」に基づいて制裁を受けることがある。また重大な非行があった場合には規則 1.2aに基づいて失格とする場合がある。

14. 服装規定

日本JCじゃがいもクラブの服装規定に準ずる。

お願い

15. グリーンに著しく損傷を与えるシューズは、使用しないこととする。